

産休にさえ対応できていない実態明らかに

三月・県内地教委実態調査より



24年度 第3号
通巻1801号

発行所:
高知県教職員組合
〒780-0850
高知市丸ノ内2-1-10
TEL088-822-4135
FAX088-823-2355

全教職員
配布
読んでね

県教組HPは

↓こちらから



1. 代替未配置について
回答のあった「代替配置」の事例は75例(休み始めた理由などが判明しているのは58件)。そのうち、完全な「未配置」が31件です。(この中で理由や対応などについて詳細の記述があるのは14件。)その他に、「一ヶ月以上未配置」が10件あります。これらを合わせると一ヶ月以上未配置になったのは41件でした。

①代替が配置出来ないというのとは問題です。
②休み始めた理由などが判明している58件の内、産休を理由とした事例は29件でした。しかし、そのうち14件は、休み始めた日には代替教員が着任できていません。「一ヶ月以上」未着任となった事例が4件、まったく未配置となった事例が3件。予定の日が分かっているのに引き継ぎも出来ない状態

で、産休に入る実態は深刻です。産休に入ってから「自主的勤務」をした事例も報告されています。
③その58件中「代替が時間講師」という回答が15件。結局、校務分掌が他の人に加わります。
④未配置の期間も含めて、休み始めた人の代わりをどうしたかという問いに「教頭が担当」という回答が14件。学校現場の中で、文科省調査(22年)で一日の残

学校現場は、今、大変な長時間労働を強いられています。その中で、高知県では40人に一人が病休となり、採用されてからの3年間で小中学校の新採用者は約2割が辞めていくというような若年退職者が続出する実態です。それをカバーする代替教員不足もおらず、問題となっています。
そこで、そうした実態と各地教委の思いを集約したいと考え、24年3月に「教職員の勤務実態に関する調査」(以下、24実態調査)を県内すべての35地教委対象に行いました。
5月21日現在、23地教委(地教委数は65.7%、管下の学校数165校で校数では59.8%)から回答を得ましたので、5月29日に記者会見(写真・左下)をして、そのまとめと私たちの考えを公表しました。

安や「みんなに迷惑を掛けて申し訳ない」といふ心配につながるような現状になってしまっています。もちろん病休取得者にも



業時間が教諭(約3時間)よりも多かった教頭(約4時間)に担任業務等が回っていることは本人にとっても、学校全体で考えても問題です。結果として、本来ならばみんな喜んで合い励まし合える「妊娠しました」という報告が「代替は来るの?」という不安や「みんなに迷惑を掛けて申し訳ない」といふ心配につながるような現状になってしまっています。もちろん病休取得者にも

同様の心配があります。
2. 在校等時間について
24年1月と2月の勤務時間外の実態についても調査しました。上限とされる「45時間以上」、過労死ラインとされる「80時間以上」の実数とその割合を調査しました。有効回答があったのは、23地教委の内20です。その結果は、表(次ページ上)の通りです。1月は「15%以上20%未満」が5地教委と最多、2

29日の記者会見を終えて戻ってきたら(記者会見とはまったく関係なく)3月に県教委に問い合わせをしていた人事異動に関する質問の回答が出来たとの連絡。その回答をすぐに入手
▼その中に23年度の「一ヶ月以上六ヶ月未満の未着任数」と「六ヶ月以上の未着任数」の項目があります。それを見ると、前者が79件112人、後者が3校3人。合計82校115件。私たちが一覧表にしている2016年から見ても過去最高。前年より校数で20校以上、人数で30人以上増加。これは本当に深刻▼病休者数の回答では「病休者(病気休暇+病気休職)228人、うちメンタル132人」。やはり約40人に一人程度。代替配置が困難な事例を懸念▼24年度はまだ九ヶ月もあります。学校内の対応を考える、困ったところではない▼「学校崩壊」という言葉さえ頭に。緊急の施策が必要だと強く思います。(和)

お城下

29日の記者会見を終えて戻ってきたら(記者会見とはまったく関係なく)3月に県教委に問い合わせをしていた人事異動に関する質問の回答が出来たとの連絡。その回答をすぐに入手

有効回答のあった20地教委の結果(％の分布)

1月	45時間以上	80時間以上	2月	45時間以上	80時間以上
40%以上			40%以上	2	
40%未満	1		40%未満	1	
35%未満			35%未満	3	
30%未満	3		30%未満	6	
25%未満	3		25%未満	2	
20%未満	5		20%未満	2	
15%未満	3	1	15%未満	2	
10%未満	1		10%未満		3
5%未満	1	9	5%未満		9
0	3	10	0	2	8

	45時間以上	80時間以上
1月	594人	71人
2月	804人	89人

これらのことを踏まえ、記者会見では次の事を強く訴えました。

①高知県独自の臨教確保の実施を！

全国的にも教員志望者が減っている中では、他県と比べても「高知の待遇は

4. 記者会見で強調したこと

地教委からの回答でしたので、多くの市町村ではほとんど配置されていない実態です。

月は「25%以上30%未満」が6地教委と最多です。まだまだ「働き方改革」は進んでいない実態だと思われま。

3. 働き方改革について

「働き方改革」の具体策として、多くの地教委が努力しているのは「支援員」の配置(下の一覧表参照)です。

県費負担の支援員

では「放課後等学習支援員」が60人です。市町村費負担の支援員では、「特別支援教育支援員」が119人です。市町村費では、他に「学習支援員」が54名、「業務支援員」が33名です。地教委の努力が見られます。

ともかく、「一定の配慮が必要な子ども」が増えている中、教職員定数や特別支

援学級の定数(8人までは1学級)が変わらない中で、地教委が財政的に努力して支援員配置でカバーしているのが実態です。根本的な学級定数改善が必要です。

なお、「学校図書支援員」も66名です。これも多いですが、国の地財措置では「週30時間1.5校に一人配置」の計算です。この66名の大半は1

名 称	県費負担	市町村費負担
放課後等学習支援員	60	
多忙化解消支援員	1	4
業務支援員	15	33
学力向上支援員	2	16
特別支援教育支援員	13	119
小学校英語支援員	1	
学習支援員		54
校務支援員		8
学校図書支援員		66
教員補助員		20
部活動支援員		16

*名称は、アンケートに書かれているものを基本にしました。実際の辞令上の名称と一致していない場合があるかもしれません。そのため、県費の「放課後等学習支援員」と市町村費の「学習支援員」は、勤務実態上ほぼ同じかもしれません。

良いね」と思ってもらえる改善をして、確保が必要です。

ア・臨教経験者への特別選考

イ・給与表の2級格付け

ウ・プール制の実施等

②再任用・定年延長者の給与引き上げ等

待遇改善を！

6月1日に行われた採用審査で高知会

場で受審された方は90人減っている中で、来年度の臨教として登録してくれるだろう人が(未着任の実態が早くも少なからず起こっている)今年よりもさらに減ることが予想されます。さらに、25年3月末には、61歳の定年退職者が出ます。また、25年度中に65歳になる人には、年

金が満額出るようになります。当然、かなりの方が「(再任用や定年延長では)給与も下げられるからもういいや」と学校現場から離れることを選択される可能性が高いです。こうした人たちに、学校現場でもう少し頑張ろうかと思ってもらえないと、教職員が足りなくなります。だからこそ待遇改善が急務です。

③「働き方改革」には、意識改革ではなく

く具体策の実施を！

④高知県独自の教職員配置の充実・改善などの実施を！

⑤これらの課題を議論する、現場代表・組合代表なども参加するを検討委員会の設置を！

★県教委の教育行政改善を求めて、こうした点を目標に運動に取り組んでいきます。職場のみなさんには、署名等いろいろなことにご協力をお願いいたします。よろしくお願ひします。

不登校に関する教育講演会

石井しこうさん

6月29日(土) 14時から

★詳しくは同送のチラシか県教組HPを。

中教審特別部会の

「審議のまとめ」に関して、
今月、号外を発行予定

教職員の長時間過密労働と「定額働かせ放題」の現実に対して何らかの対策をという声に対して、教職調整額4%を10%に引き上げることを軸とした中央教育審議会特別部会の「審議のまとめ」が発表されています。

しかし、それには大きな問題点があります。そこで、それを解説する号外を今月中に発行します。どうぞお読みください。

高岡・センセイの学校

5月25日土曜日、高岡教育会館でセンセイの学校を実施。未組合員の青年5人を含め9名の参加でした。

参加予定の人が揃うまで、国語、算数、理科、図工、保健室、学級通信、書籍プレゼントなどの教材アラカルトコーナーを自由に回りました。

メンバーがそろったところで開会。前半は、学級で使えるゲームの紹介です。最初は「さすらいのギャンブラー」。3チームに分かれてそれぞれコピー用紙で作った札束を持ち、他のチームの人とお札をかけてじゃんけん。勝ったら賭けた枚数のお札をもらいます。勝ち続ける人負けてすつからかんになる人それぞれ。自己紹介をしながら楽しみました。二つ目は「8秒しりとり」。「1, 2, 3, 8, バナナ、バナナ！」と

テンポよくしりとりをします。同じチームがしよつちゅう詰まって大ウケ！盛り上がりしました。

ゲームでほぐれたところで次は理科の実験(写真・左)を

参加者で楽しみました。水に入れると消えるビーズの不思議を体験。外に出てフィルムケースを使ったミニロケットを飛ばしました。

その後は輪になってちよつと長めの自己紹介。困っていることや職場の状況などを交流しました。子どもへの関わり、教科担任制、教材研究に時間がかかってしまう、授業をどう



したらよいかななど、それぞれの悩みも出しました。最後は担当者が組合の存在について語り、開会しました。

閉会後もおしゃべりは続き、参加者からは「話を聞いてもらった時間がありがたかった。学校ではこういう話がなかなかできないので、こ

（高岡・樋口弘恵）

香美・土長 フィールドワーク

5月11日土曜日に、土長南国教組と香美

香南教組合同の学習会「土長香美戦跡史跡フィールドワーク」を行いました。このフィールドワークシリーズ、今回で5回目を数えます。

参加者は5名、組合に加入していない先生も参加してくれました。講師は松村

信博さん、一回目のフィールドワークからずっとお世話になっています。中学校の

社会科の先生をなさっていただけあって、毎回、お話がとても面白く、すぐに引き

のような機会があれば、また参加したい」などの感想が寄せられました。ここで仕

入れた教具を早速次の日学校で作り、子どもと楽しんだ人も

いました。今後もし若い人たちのニーズに合う取組を積極的に行っていきます。

（高岡・樋口弘恵）

込まれてしまっています。朝9時に香美の教

育会館に集合し、まずは夜須町の手結港に向かいました。ご存じの方も多い港です。そう、野中兼山

が大規模な工事を行った手掘りの港です。港を見ながらどうして手結なのか、灯籠

にある金毘羅参りの意味、石積みについてなど、たくさん

興味深いお話を聞きました。

続いて第1回目のフィールドワークでも訪れた震洋隊の記念碑に行きました。終戦の翌日に起きた



(プレート)が動いている何よりの証拠だと解説していただきました。

最後に芸西村資料館へ。知る人ぞ知るあのバードカービングの堀田さんが、この資料館で展示資料の管理をして

てくださいます。端午の節句の兜飾り、古道具、SP版のレコード、鳥捕りなど、いろいろなものを見せていただきました。

お昼に香美の教育会館に帰り、お昼ご飯を食べながら交流。

次に向かったのが、いよいよ今回のメイン「メランジュ」の学習でした。塩屋海

岸から住吉漁港、琴ヶ浜へと続く「メランジュ」の数々。みなさん、そもそもメランジュって分かり

ますか？プレートテクニクスって聞いたことがありますか？何億年におよぶ地球の歴史でできた地形で、海底にある「地球の垢」です。海底

教職員のための自動車保険は 全教自動車保険



教職員と家族を守って34年

WEBでかんたん
見積依頼

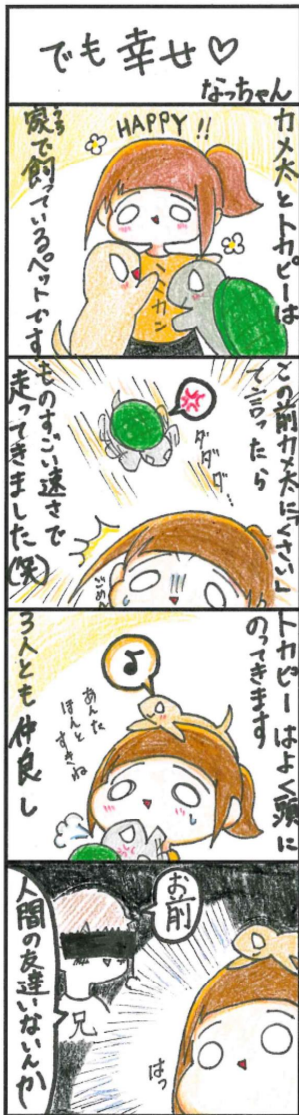


右のQRコードから見積り依頼を→

お問合せは代理店ケンキョーまで ☎ 0120-459-813

県教組の委員長が説明に来てくれた共済の学習会で、うれしいことに若い先生がお一人、総合共済に加入してくれました。今回も大変有意義な会でした。もう決めています。第6弾は、秋に計画。手前味噌ですが、とても勉強になる、そして楽しいフィールドワークです。一度来ていただいたら、次からは癖になります。皆さん、秋は、ぜひ一緒にしましょう！

(香美・泉谷博之)



【タテのカギ】

1. 「泰平の眠りを覚ます○○○○」
○ たった四杯で夜も眠れず」と歌われたペリーの浦賀来航は、1853年旧暦の6月3日。

2. 主に(？)寝ている時に見るもの
宮八幡宮にある長

宗我部元親○○○
○の像

4. 自転車やバイク
5. 赤ちゃんが立って○○○○○！

9. 西洋風
12. モノの表面を覆う薄い皮

【ヨコのカギ】

1. 一年の中で祝日がない月は、6月
といつ？

13. 「くるところ」の意味。辞書に載っている「ん」で始まる言葉のひとつ。
「君○○○、明日遊びに行くよ」
14. 植物の一部分。水や養分の通り道
かぎを解いて二重
枠に入る3文字で、
高知県内を流れる1・

【4月号の当選者】
「かがみ川(鏡川)」
でした。抽選の結果、次の3名の方が当選されました。おめでとうございます。
タマさん
(秦小)
江原理穂さん
(赤野小)

高知県内を流れる1・2級河川③

1	2	3	4		5
6					
		7			
8	9				
10			11	12	
13				14	

6. 晴れているのに雨が降る「狐の○○○」
7. 洋服等を見せるための人の胴の型
8. この教育通信もこの一つ
10. くつつきワード
き○○
こ○○てき
○○じん
11. やめた状態になる動詞。

2級河川の名前(○○川、解答には川をつけてね)を作ってください。①解答②郵便番号・住所③氏名(匿名希望の方はペンネーム可、ただし本名は忘れずにお書きください)④職場名⑤職場の話題か教育通信の感想、を書いてメールまたは葉書で送ってください。締切は7月31日。3名の方に図書カードを進呈。⑤は紙上で紹介させていただくことがあります。

泉谷博之さん
(野市東小)

【みなさんの声より】

○先日、全校で春の遠足に行きました。縦割り班で行動したので、担任している学年以外の児童と交流できて楽しかったです。

○もうすぐツルレイシを植えて、緑のカーテンを作ってみようと思って二週間が過ぎました。次号が出るまでには植えようと思います。

○喉が痛いです！

○今年は、久々に情報教育(ICT)担当が当たりましたが、教科書の入れ替えの年で、IDやPassの管理、デジタル教科書の扱いの先生方への周知など、子ども以外の仕事に倒されそうです。

○家庭訪問に参観日に遠足、運動会に加え、計画作りに疲れ果てました。

○今年、初めて校務支援員が来てくれました。嬉しいものです。ですが、何をどう頼めば良いのか、まだ

まだ慣れません。

○沢山の書類の締切、大変です。

○使ったモノは元の場所に片付ける、次の人のことを考えて補充する、税金で紙を使わしてもらっている、忙しさでも忘れてはいけないことです。

○教員生活3年目になりました。新しい学校で可愛い子どもたちに囲まれてこれから一年がとても楽しみです。

○学校の花壇にジャガイモの種芋を植えすぎて、どの花壇もジャガイモだらけになってしまいました。

○生徒対応でケガをした話を聞いたが、公務災害になるのだろうか。管理職には、働きやすい職場を作っていたきたい。

○児童とともに赴任した、統合先の新任教での運動会を終えました。全校20人弱の完全複式校から、4倍以上の規模となり、戸惑うことも決して少なくなかったと思います。それぞれの学年の一員と

★編集部より★

好評いただいた「なっちゃん」の4コマ漫画、今月号は実はカラー作品です。みなさんにお届けしている教育通信は白黒ですが、県教組HPで公開しているモノはカラーです。カメ太やトカビーが何色なのか、興味ある方、ぜひそちらでもご覧下さい。

しての活躍に加え、上級生は全校のリーダーとしても堂々と責任を果たす姿に、胸を撫で下ろすとともに、頼もしさを感じ、胸がいっぱいになりました。閉校の記念碑に刻んだ「絆」の文字を思い浮かべ、前任校で過ごした日々

メールはこちら

